

授業科目名 <英訳>	メディア文化学(特殊講義) Media and Culture Studies (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 高木 博志					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	近代における京都イメージの形成と花街										
【授業の概要・目的】											
<p>最初に、近代における京都イメージの形成を考える。雅で貴族的な国風文化、町衆の自治やキリシタン文化に代表される安土桃山文化、それらと京都イメージが重ねられる近現代の過程を追う。さらに、嵯峨や宇治に女性的なイメージが古典文学とかかわって付与される意味を論じる。後半は、京都の花街の歴史的な展開を示した上で、花街における宗教の布教の問題をとりあげる。近代において芸妓や娼妓が求めた救済について、宗教教団の活動から考察したい。全体として、京都イメージの「もてなしの文化」という観光言説が、性を隠蔽したものであることを考える。</p>											
【到達目標】											
<p>注のある形式の論文が作成できる。近現代における京都の文化と政治について、授業とフィールドの両面から、理解を深める。</p>											
【授業計画と内容】											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新と京都 ・ 1880年代の皇室をめぐる「旧慣」（伝統文化）の保存 ・ 1895年の第4回内国博覧会と平安遷都千百年記念祭と京都イメージ ・ 「京都らしさ」と国風文化 ・ 大正期のキリシタン研究・安土桃山文化の顕彰 ・ 昭和戦前期の明治維新顕彰 ・ 歴史顕彰の研究史 ・ 京都と「もてなしの文化」イメージ ・ 京都における花街の歴史的展開 ・ 京都における花街と観光 ・ 絵画・文学のなかの花街 ・ 民衆宗教の近代 ・ 宗教と花街布教 ・ 花街と衛生・病気の問題 ・ 芸能者の信仰と花街 <p>以上の諸問題を考える。内容は変更することもある。フィードバックについては授業中に指示する。</p>											
【履修要件】											
特になし											
----- メディア文化学(特殊講義)(2)へ続く -----											

メディア文化学(特殊講義)(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

講義にかかわる自由研究のレポートによる。注のある形式。授業で指示。平常点も加味する。

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

(参考書)

高木博志 『近代天皇制と古都』 (岩波書店)

[授業外学習(予習・復習)等]

祇園・宮川町・七条新地など、近現代の花街に関わる巡見を希望者で行う。

(その他(オフィスアワー等))

レポートの内容について個別相談に応じる。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。